

令和5年度 後期学校評価アンケート結果報告

後期の学校評価を、保護者や教職員、児童生徒のアンケート結果を踏まえて分析をしました。

<後期学校評価アンケート結果分析について>

◎実施 令和6年1月上旬～1月下旬

◎方法 アンケートフォームで回答

保護者、教職員は各項目について「実現度」を5段階で、

児童生徒は、各項目について「実現度」を3段階で回答

◎回答率

比較：前期⇒後期

	保護者(208)⇒(209)	児童生徒(216)⇒(217)	教職員(139)⇒(130)
回答数	106⇒102	62⇒62	128⇒119
回答率	51%⇒49%	28.7%⇒28.6%	92.1%⇒91.5%

◎アンケート項目について

今年度の「学校教育目標」、「各学部の教育目標」に沿って作成しています。

学校教育目標

地域社会で、自分らしく生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために、個々の可能性を最大限に伸ばす

アンケート大項目

1. 健やかな身体をつくる
2. 自分なりの方法で意思を表出する
3. 人を大切にし、共に生きる
4. 願いや夢を持って心豊かに生きる
5. 自ら考え、自ら活動する
6. 役割を担い、役に立とうとする
7. ルールやマナーを守って行動する
8. 全体に関すること



【保護者・教職員アンケート結果】

1. 健やかな身体をつくる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
① 学校は、児童生徒の健康維持や体力づくりに十分に取り組んでいる。		93.8  (97.3)	95.5	93.8  (95.6)	94.1  (96.2)	90.8  (93.8)
② 学校は、児童生徒の健康観察を丁寧に行い、健康に留意して学校生活を送れるように取り組んでいる。		100.0  (94.6)	95.5  (100)	95.8  (97.8)	97.1  (97.2)	98.3  (99.2)
③ 児童生徒は、自分の心や身体を大切にしようとする姿が育っている。 （「しんどい」ことを伝える、薬を飲む 等）		71.9  (83.8)	81.8  (77.3)	87.5  (88.9)	81.4  (84)	90.8  (90.6)
④ 学校は、児童生徒の健康・安全を守っている。		100.0  (97.3)	100.0	100.0	100.0  (99.1)	97.5  (97.7)

2. 自分なりの方法で意思を表出する		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑤ 学校は、児童生徒が自分なりの方法で挨拶やコミュニケーションができるように取り組んでいる。		100.0  (97.3)	100.0	95.8  (95.6)	98.0  (97.2)	93.3  (96.1)
⑥ 児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしたり、コミュニケーションをとったりしている。		90.6  (97.3)	95.5	91.7  (88.9)	92.2  (93.4)	95.8  (96.1)

3. 人を大切にし、共に生きる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑦ 学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる。 (校内・地域 等)		90.6  (89.1)	95.5  (90.9)	95.8  (93.3)	94.1  (91.5)	87.4  (89.1)
⑧ 児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している。 (校内・地域 等)		84.4  (86.5)	100.0  (86.4)	87.5  (84.4)	89.2  (85.9)	87.4  (92.2)
⑨ 学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている。		87.5  (89.2)	95.5  (100)	87.5  (88.9)	89.2  (91.5)	93.3  (91.4)

4. 願いや夢を持って心豊かに生きる		実現度				
質問項目		小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑩ 学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している。		100.0  (94.6)	100.0  (95.5)	95.8  (95.6)	98.0  (95.3)	91.6  (95.3)
⑪ 学校は、児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、包括支援プランを作成している。		93.8  (91.2)	100.0	97.9  (97.8)	97.1  (96.2)	88.2  (93.0)
⑫ 学校は、児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている。		84.4  (86.5)	81.8  (77.3)	87.5  (86.7)	85.3  (84.9)	84.0  (88.3)
⑬ 児童生徒は、安心感や充実感を持って学校生活を送っている。		90.6  (94.6)	95.5  (86.4)	85.4  (84.4)	89.2  (88.7)	96.6  (96.1)

5. 自ら考え、自ら活動する	実現度				
質問項目	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑭ 学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組むような学習や活動を行なっている。	93.8 ↓ (94.6)	95.5 ↓ (100)	93.8 ↑ (86.7)	94.1 ↑ (92.5)	93.3 ↓ (95.3)
⑮ 児童生徒は、達成感や満足感を持って、学習や活動に取り組んでいる。	90.6 ↓ (91.9)	90.9 ↑ (86.4)	85.4 ↑ (75.6)	88.2 ↑ (84.0)	91.6 ↓ (94.5)

6. 役割を担い、役に立とうとする	実現度				
質問項目	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑯ 学校は、児童生徒が役割を担うことでのやりがいを感じて活動できるように取り組んでいる。	93.8 ↓ (94.6)	100.0	85.4 ↓ (88.9)	91.2 ↓ (93.4)	96.6 ↑ (96.1)
⑰ 児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している。	90.6 ↑ (86.5)	86.4	81.3 ↓ (86.7)	85.3 ↓ (86.8)	92.4 ↓ (96.9)

7. ルールやマナーを守って行動する	実現度				
質問項目	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑱ 学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている。	90.6 ↓ (94.6)	100.0 ↑ (90.9)	93.8 ↑ (84.4)	94.1 ↑ (89.6)	93.3 ↓ (97.7)
⑲ 児童生徒は、ルールや約束を守って行動しようとする姿が見られる。	84.4 ↑ (83.8)	77.3 ↓ (90.9)	85.4 ↑ (82.2)	83.3 ↓ (84.9)	95.8 ↑ (95.3)

8. 全体に関すること	実現度				
質問項目	小	中	高	保護者全体 小・中・高	教職員全体
⑳ 学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている。	93.8 ↑ (91.9)	95.5 ↓ (100)	95.8 ↓ (97.8)	95.1 ↓ (96.2)	93.3 ↓ (97.7)
㉑ 学校は、授業を大切にし、熱意を持って児童生徒の指導や支援をしている。	100.0 ↑ (91.9)	95.5 ↓ (100)	93.8 ↓ (95.6)	96.1 ↑ (95.3)	95.8 ↓ (97.7)
㉒ 学校は、学年だよりや、学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている。	93.8 ↑ (91.9)	100.0	95.8 ↓ (97.8)	96.1 ↓ (96.2)	95.0 ↓ (97.7)

・保護者、教職員は、「実現度」を5段階で回答する選択肢の「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合(%)を表示しています。

・()の数値は前期の結果を表示しています。前期後期の数値が同じ場合は、()は表示していません。

・前期と比べて、肯定的な回答の割合が、5%以上上がっている項目をピンク、10%以上上がっている項目をピンクの網掛け、5%以上下がっている項目をグレー、10%以上下がっている項目をグレーの網掛けで着色しています。

《保護者・教職員アンケート結果から》

保護者の肯定的回答が80%を超える項目は、22項目中、小学部21項目、中学部21項目、高等部22項目という結果となり、教職員の肯定的回答が80%を超える項目は22項目中22項目と学校教育目標に沿った取組が、ほぼ達成できているという結果となりました。

その中で、小学部の②⑩⑪、中学部の⑧⑬⑯、高等部の⑯⑰の項目の肯定的な回答が前期と比べて5%～10%あがりました。

②は、学校は、児童生徒の健康観察を丁寧に行い、健康に留意して学校生活を送れるように取り組んでいるという項目です。保護者全体、教職員とも、前期に比べてやや下がりましたが、95%を超える結果となりました。引き続き、児童生徒が、安心・安全に学習できる環境づくりを日々意識して取り組んでいきたいと思います。

⑩は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有しているという項目です。教職員は少し下がった結果となっていますが、保護者全体としては上がった結果となりました担任を中心に、学部で本人の願いの実現に向けて、包括支援プランを作成しています。作成した目標について取り組み、日常の様子や取組を連絡帳で丁寧に伝え、保護者と相談しながらできていることからの結果ではないかと思います。引き続き、「何ができるようになるか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか・何が身に付いたのか」等、取組内容や児童生徒の様子について保護者の方と共有しあい実践につなげていくことが大切であると考えています。

⑫は、熱意を持って児童生徒の指導を行っているという項目です。教職員としては少し下がった結果となりましたが、保護者全体として少し上がった結果となりました。保護者の方にそのように感じていただけているということは、大変うれしいことです。今後も、自己を省み、児童生徒の力を最大限に伸ばせるよう、さらに資質能力、専門性の向上に努め指導や支援をしていきたいと思います。

⑧は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動しているという項目です。教職員としては少し下がった結果となりましたが、保護者全体として上がった結果となりました。ワーク販売学習や生き方探究チャレンジ体験学習、学校間交流学習、進路学習等で、たくさんの人との関わりの中でともに活動し、感じたり楽しんだりすることで成長する姿が見られたからではないかと考えます。今後も、いろいろな人の関わりや、つながりを持てるような、学習の場の設定を考えていきたいと思います。

⑬は、児童生徒は、安心感や充実感を持って学校生活を送っているという項目です。教職員としては少し下がった結果となりましたが、保護者全体として上がった結果となりました。

後期に行った、学習発表会や、修学旅行等の学年やクラスでの行事や取組の中で、一つのことをやり上げる経験を通して、友達や教職員との信頼関係を築き、安心感、充実感を持って学習ができたのではないかと考えます。また、日ごろからのクラスでの友達、担任、学年の教員のやり取りの中で、子どもたちが安心して学習しやすい環境が作られているのではないかと考えます。引き続き、一人一人が安心して自分の力を發揮できるようにしていきたいと思います。

⑭⑮は、児童生徒は、生き生きと主体的に、達成感や満足感を持って、学習や活動に取り組んでいるという項目です。教職員としては少し下がった結果となりましたが、保護者全体として上がった結果となりました。

ワーク販売学習や、進路学習等の学習で生き生きと学習する姿が見られました。一人一人が、「できた」「またやってみたい」と自信や意欲につながる体験になったのではないかと思います。今後も、様々な人との関わり合いの中でやり遂げる喜びを感じることで、児童生徒が、多様な他者と協働することの重要性を感じたり、主体的に様々な活動に挑戦しようとしたりする気持ちや、社会に参画する意欲を育んでいきたいと思います。

⑯は、ルールや約束を守ることの大切さについての項目です。保護者全体として少し上がり、教職員としては少し下がった

結果となりましたが、保護者全体として少し上がった結果となりました。進路学習や、防災の学習、校外学習での公共交通機関や施設を利用した学習等を通して、人との関わり方、必要なルールやマナー、規範意識を身に着けられるように取り組んできました。今後も学習を積み重ね、多様な場に応じた行動ができることで、子どもたちの活動の場が広がるように取り組んでいきたいと思います。

【児童生徒アンケート各項目の実現度について】

*「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の3段階（未記入もあり）
 *前期⇒後期の表示となります。

質問項目	そう思う
1. 自分の心や体を大切にしている。	79%⇒74%
2. しんどくなった時は、先生や家の人に伝えている。	87%⇒71%
3. 友達と仲良くしている。	87%⇒85 %
4. 学校で、自分のやりたいことに挑戦している。	81%⇒67%
5. 学校で、当番や係活動に頑張って取り組んでいる。	90%⇒87%
6. 自分なりの方法で挨拶をしている。	81%⇒74%
7. ルールや約束を守って行動している。	85%⇒82%
8. 学校の授業内容は、よくわかる。	80%⇒87%
9. 自分が「できたこと」や「がんばったこと」を、先生がほめてくれる。	87%⇒87%
10. 毎日、学校に行くことが楽しい。	71%⇒66%
11. 手洗いやうがい等に取り組んでいる。	74%⇒77%

児童生徒アンケートは、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の3段階から選ぶ形で実施しました（未記入あり）。児童生徒の実態に合わせて、本人による記入や、担任による聞き取りで行なっています。（217名の児童生徒のうち 62 名の回答がありました）

「そう思う」の回答が 80% を越えている項目の数値にはピンクで着色しました。前期と比べ 10% 以上下がっている項目をグレーで着色しました。

項目2の「しんどくなった時は、先生や家の人に伝えている。」、項目4の「学校で、自分のやりたいことに挑戦している。」が 10% 以上下がった結果となりました。

項目2については、児童生徒との信頼関係を高めることが必要だと考えられます。引き続き、児童生徒が自分の気持ちを伝えることができるような安心できる信頼関係を築き、少しでも周りの人に相談できる環境作りを心がけ、取り組んでいきたいと思います。

項目4については、現在の取組にやりたいことが見出せないか、挑戦する気力が減ってきていることが見られます。児童生徒自身が、学校での活動を「何のために」「何をするのか」がわかりやすい授業を実践し、「やってみたい」という意欲や達成感が持てるよう、一人一人の願いの実現に向けた目標、取組を見直し、改善していく必要があると考えています。

令和5年 後期学校評価アンケート 保護者・教職員 実現度比較

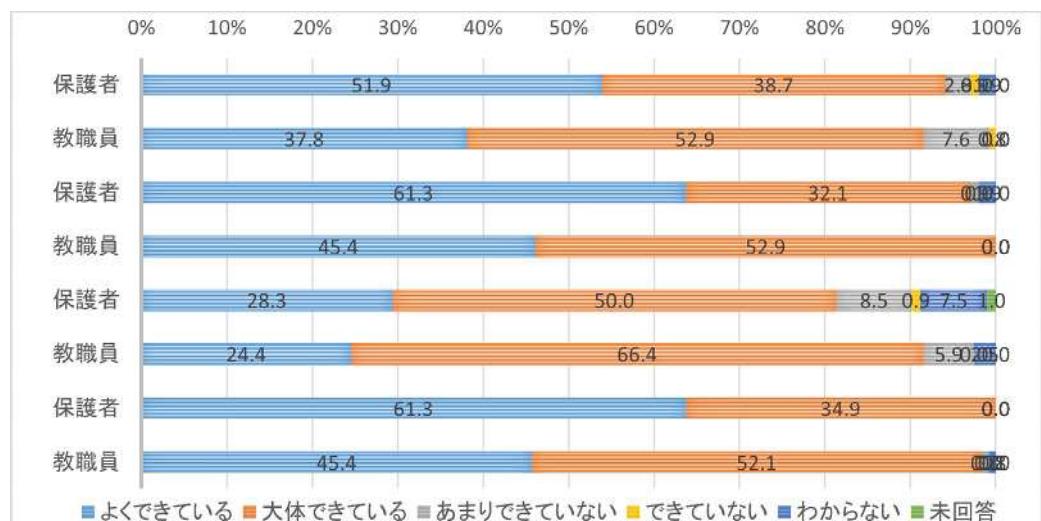
1. 健やかな身体をつくる

①学校は、児童生徒の健康維持や体力づくりに十分に取り組んでいる

②学校は、児童生徒の健康観察を丁寧に行い、健康に留意して学校生活を送れるように取り組んでいる

③児童生徒は、自分の心や身体を大切にしようとする姿が育っている（「しんどい」ことを伝え、薬を飲む等）

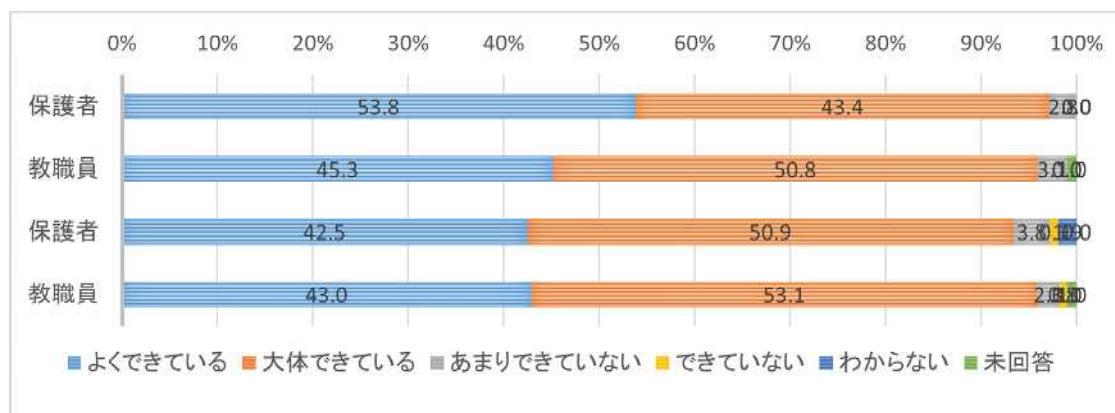
④学校は、児童生徒の健康・安全を守っている



2. 自分なりの方法で意思を表出する

⑤学校は、児童生徒が自分なりの方法で挨拶やコミュニケーションができるように取り組んでいる

⑥児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしたり、コミュニケーションをとったりしている

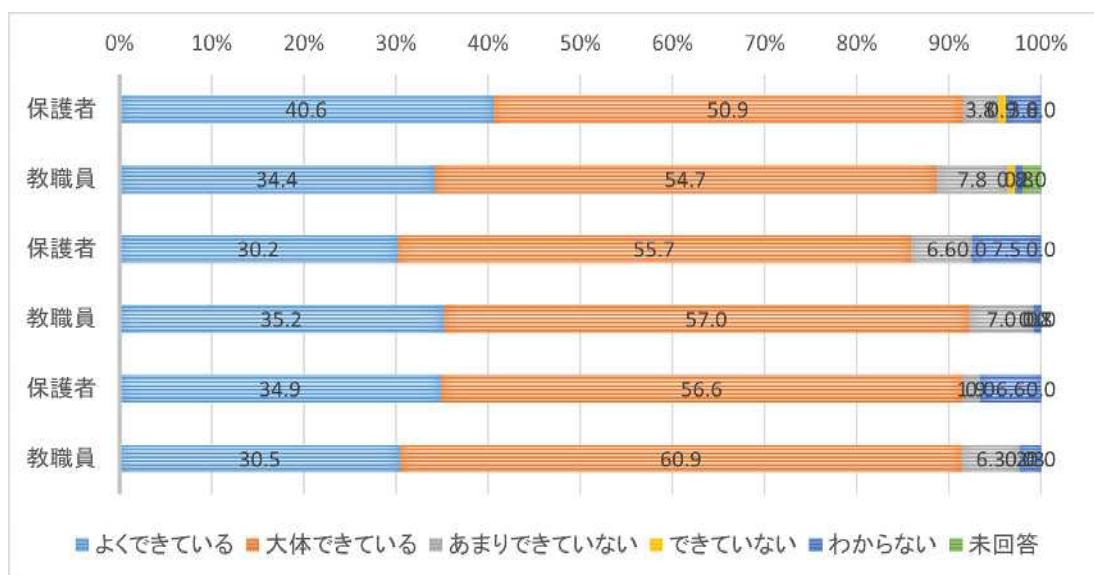


3. 人を大切にし、共に生きる

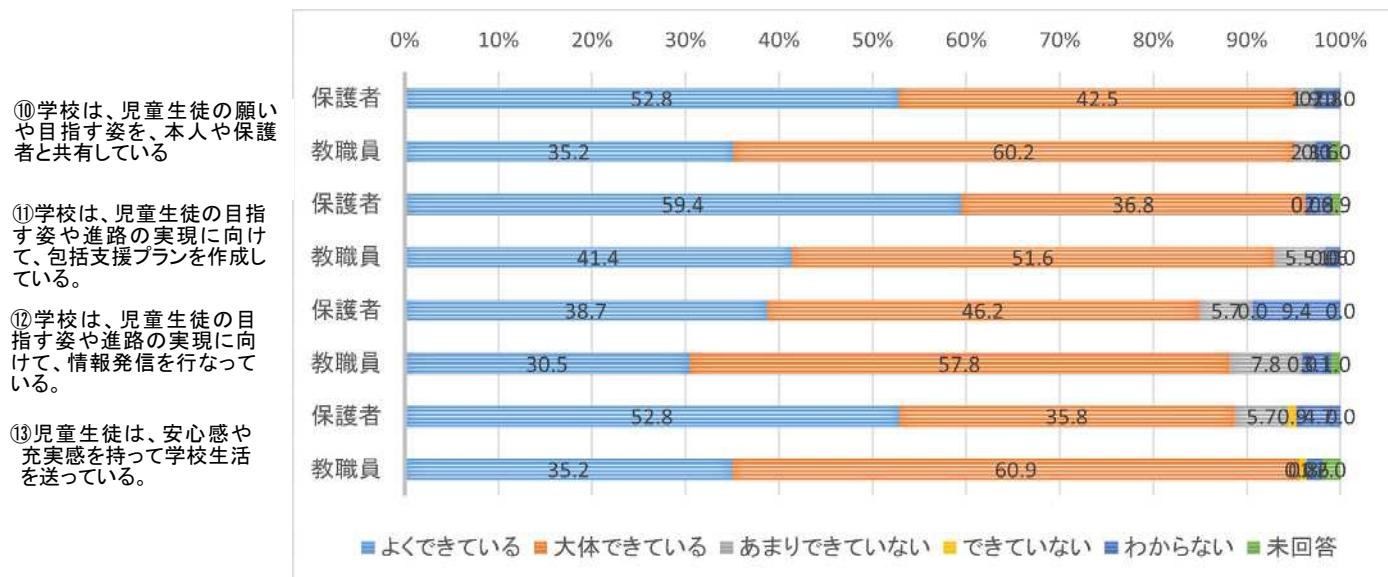
⑦学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる（校内・地域等）

⑧児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している（校内・地域等）

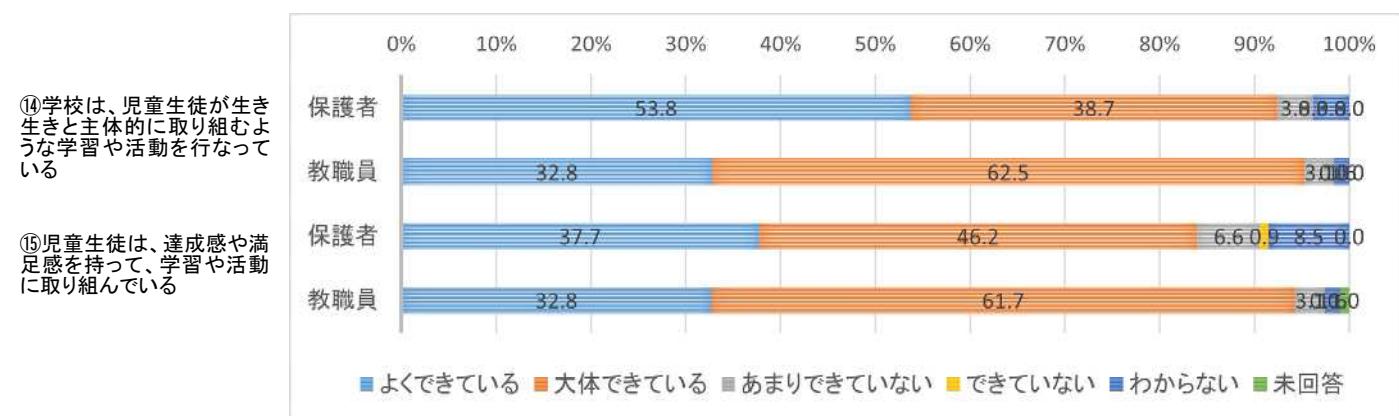
⑨学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている



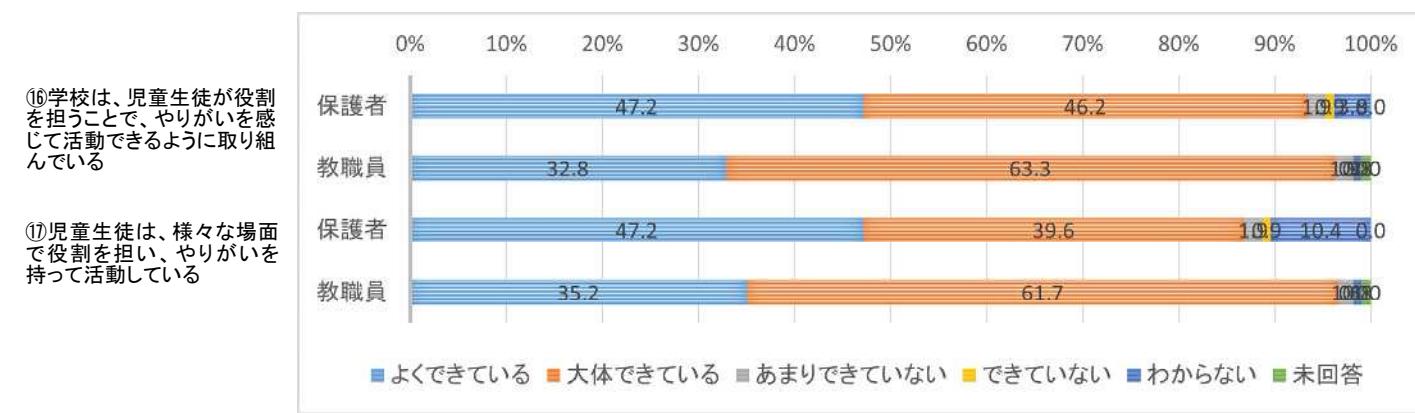
4. 願いや夢を持って、心豊かに生きる



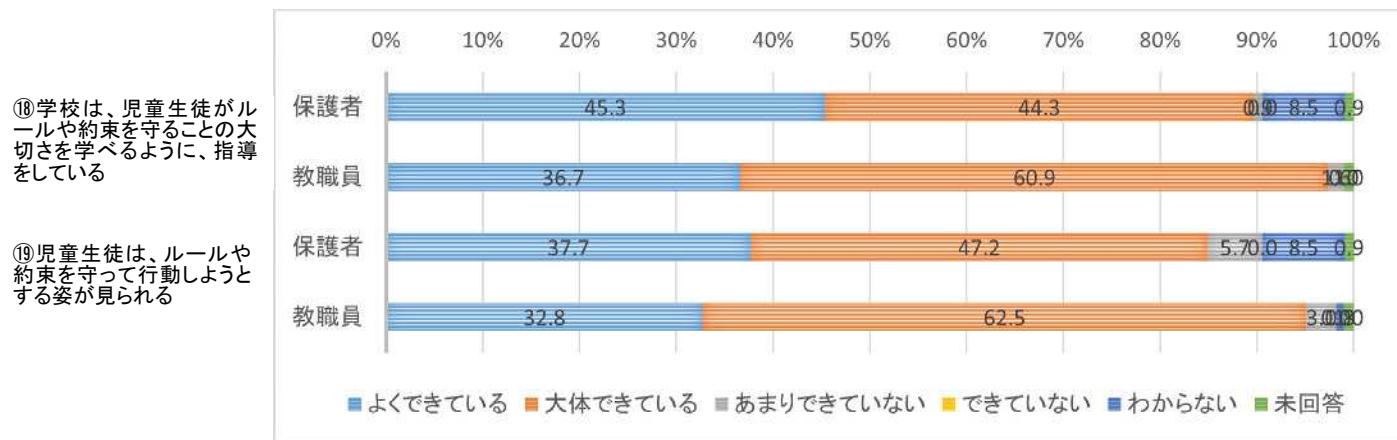
5. 自ら考え、自ら行動する



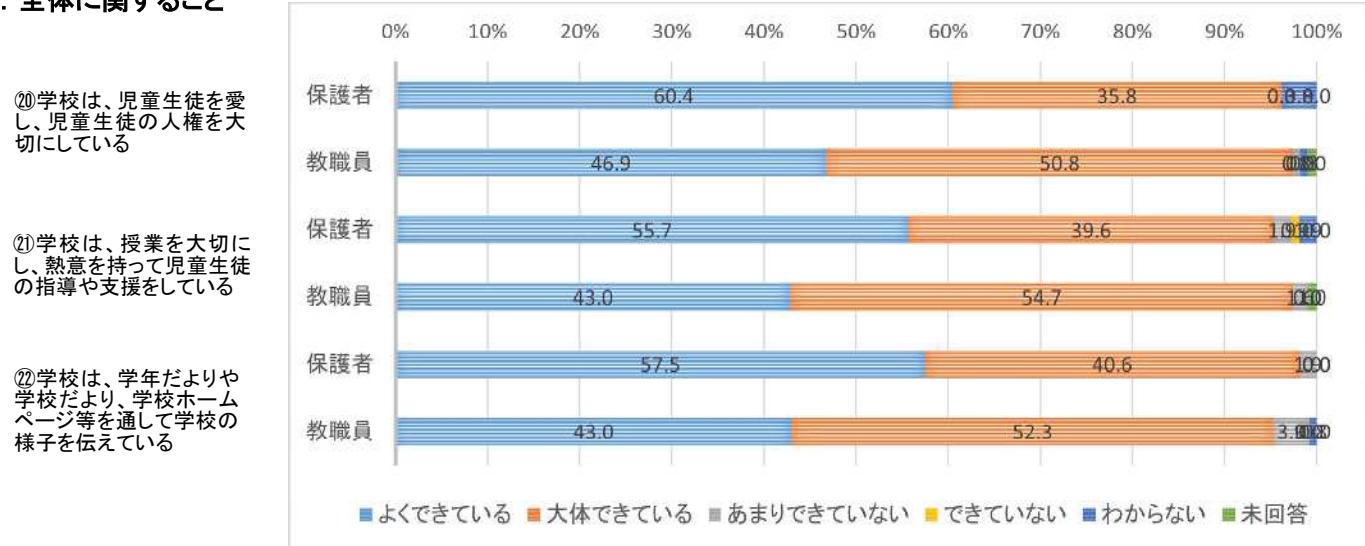
6. 役割を担い、役に立とうとする



7. ルールやマナーを守って行動する



8. 全体に関すること



児童生徒アンケート結果

